
だから僕たちは変わらない

雪空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だから僕たちは変わらない

【Nコード】

N0217Y

【作者名】

雪空

【あらすじ】

『————だから僕たちは変わらないんだ』
特徴のない僕と、変わった不登校の輪月さんのさびしい物語。

始まりは

僕のクラスには、不登校の生徒がいる。

別にいじめられている訳でもないし、教師に問題があるわけでもない。

だから誰も気にすることはなかった。

そう。

僕もそのうちの一人だった。

別に居なくても問題なかったし、きっと個人的な理由があるのだから
うと思っっていた。

そういえば今日もないな、というくらいの話だ。

だから気にしていなかった。

それも今日で終わった。

「へ？僕がですか？」

突然のことに僕は素っ頓狂な声を出した。
クラスメートはみんな帰り始めてたし、その声を聞く者は少なかつただろうが。

「僕が・・・不登校の子の家に行く？」

「ええ。プリントがたまってきたの。いつもは私が届けてるんだけど、たまには生徒に行かせてみようかなーって思ったの」

なにか刺激になるんじゃないかってね、と担任は僕にプリントの束を渡した。ぱつと見ただけで、国語、数学、地理、物理・・・etc・・・と、かなりの種類があった。どれも授業でやったものばかりで、見覚えがあった。

「いいですけど・・・、なんで僕なんですか？家が近い人とかに頼めばいいじゃないですか」

ぶつぶつと文句をこぼすと、担任は笑って答えた。

「なに言ってるのよ、自称帰宅部部長さん どうせ暇なんでしょ？」

じゃあね、また明日ー、と担任は風のように去っていった。

残された僕ははあ、とため息をつき、プリントの一番上においてあったメモを見た。

不登校の子の家の地図だ。細かいことがちまちまと書いてある。

とりあえず行くしかない。

僕はかばんを肩に掛け、教室を出たのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0217y/>

だから僕たちは変わらない

2011年10月29日17時04分発行